

e-methane・バイオメタンによるガスの脱炭素化の取り組み

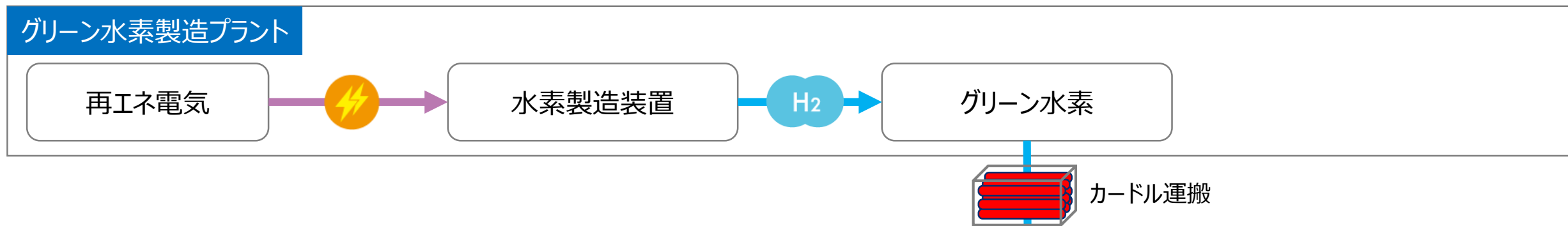
2025年6月18日

東京ガス株式会社 木本憲太郎（代表執行役副社長 グリーントランスフォーメーションカンパニー長）

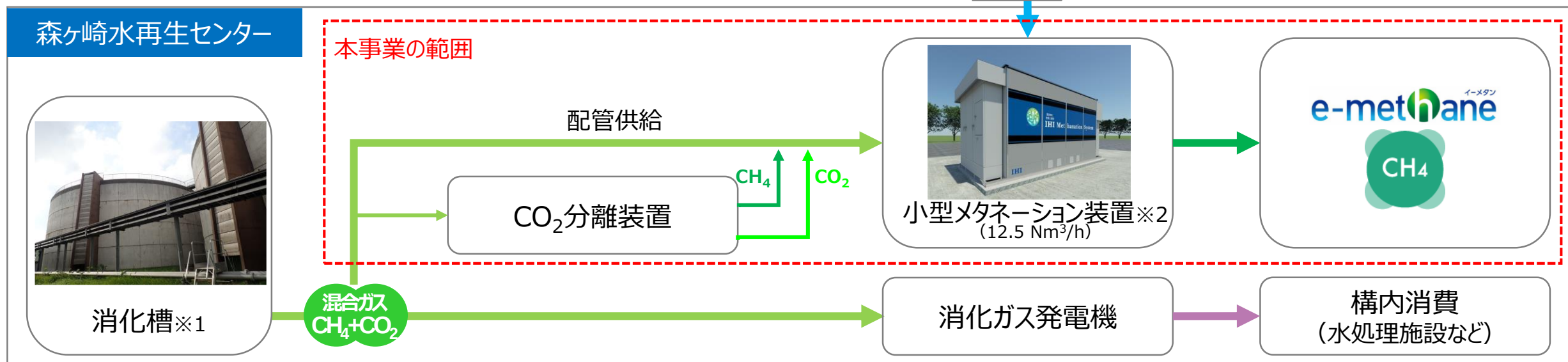
1. 森ヶ崎水再生センター（東京都）でのe-methane実証

- 東京都が大田区京浜島にて製造するグリーン水素と、同区森ヶ崎水再生センターにおける下水汚泥由来の混合ガス中のCO₂を原料として、メタネーションを実施（2026年度中にe-methane製造開始予定）。
- 東京都が公募した「東京都産グリーン水素と下水汚泥由来の二酸化炭素によるグリーンメタン製造（合成）事業」に採択され、本事業の実施に向け、東京都と協定を締結。

グリーン水素製造プラント



森ヶ崎水再生センター

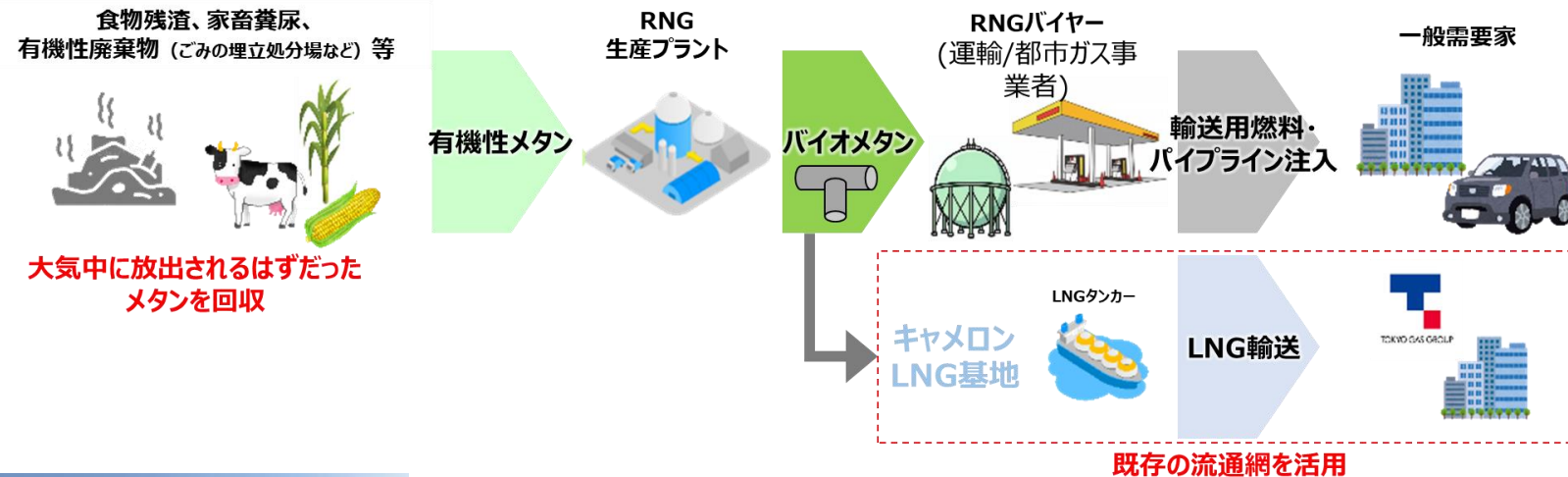


※1 東京都提供、※2 IHI提供

2. 国内外バイオメタンの取組み

- 当社はこれまで国内においてバイオエナジー城南島食品リサイクル施設等において下水消化ガス、食品残さ等からバイオメタンを製造し、都市ガス導管に注入するなどの取組みを進めてきた。
- 最近では、カーボンニュートラルガスとしてのポートフォリオを拡充すべく、**市場が活性化している米国から2024年3月にバイオメタン（RNG）を日本で初めて輸入を実現。一部のバイオメタンは既に東京ガス自社ビルに供給済。**
- 今後のさらなる拡大に向けて、**製造量が多く、かつLNG輸出インフラも整った米国産バイオメタンの本格的な導入を推進していく。**

海外バイオメタン （RNG）の バリューチェーン



海外バイオメタン （RNG）の輸入



受け入れ時のLNGタンカーの写真

- 米国ごみ埋め立て地から発生するバイオガス由来のバイオメタン約4万m³（気体換算）を天然ガスの一部とみなして液化（LNG化）し、24年3月に東京ガス扇島LNG基地にて国内初となる受け渡しを実施。
- **24年12月に輸入した一部のバイオメタンを東京ガス関内ビルに供給。**
- **25年2月には米国からの2回目のバイオメタン輸入を実施。東京ガス袖ヶ浦LNG基地にて受け渡しを行った。**

- 大型の水素プロジェクトが停滞する中、既存ガスインフラを活用できるe-methaneやバイオメタンへの期待が高まっている。
- 特に鉄鋼、セメントや化学等のHard-to-abate産業からの早期供給の要望が多い。
- 東京ガスは需要家の皆さまからの期待に応えるべく、国内外でe-methaneとバイオメタンの本格的な導入を促進。